

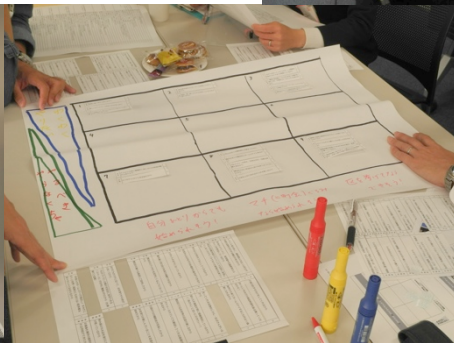


## 「すみだミライ白書制作プログラム」第3回を開催しました。

去る10月12日に行われた第三回目のプログラムにも、区内外から下は大学生から上は60代の方まで、様々な世代・属性の方にご参加頂きました。

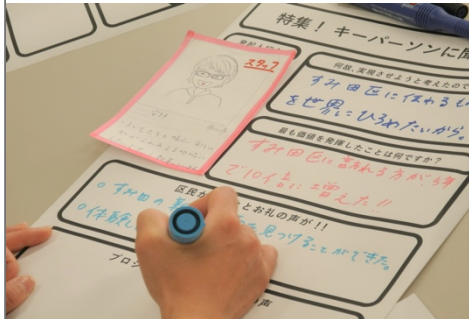
第3回では、「コタエをまとめ、ジブンゴトにする」をテーマにワークを行いました。

前半戦ではまず第2回で得られた「コタエ」の中から自分が気になるものを選び、それをグループ内でマトリクスの中にマッピングしていきました。お互いがどういうコタエに気になったのか、そしてそのコタエに対してどういう考えを持っているのかを“可視化”していきました。結果、グループ内では気になる問いが重複したり、逆に全く違ったりしたりするなど、メンバー構成により色々な結果となりました。また、グループ毎にマトリクスに偏りが出たりと、色々な気づきがありました。



縦軸に、「やりたいこと」⇔「やるべきこと」  
横軸に、「一人でも出来ること」⇔「区を挙げて出来ること」でマッピングしました。

ここまでのグループワークを経て、後半戦では個人ワークで自分が思い描くミライのすみだの様子を“既に起こった事実”と捉え、それをすみだの地域情報紙が伝えた紙面はこうなる！ というワークを行い、ミライの“理想の出来事”を自分自身のプロジェクトとして捉えてもらえるようにしました。



自分がプロジェクトのキーパーソンとして、取材されたとして書きました。

壁に全員の記事を貼りだして、それぞれのプロジェクトをシェアしました。

### 参加者の声

- ・ 墨田に通っている人、移住を考えている人がいると知り、何が彼らを惹き付けているのかが知りたくなった。(30代男性)
- ・ あったかい、楽しい人が墨田には沢山いるなと感じた。(20代男性 区外)

### 編集後記

膨大な数のコタエから選んでマッピングして、さらに記事を書いてと、かなりワークが盛りだくさんで、その分参加者の皆様に負担をかける部分が多かったことが反省です。とはいえ、素晴らしいアウトプットを得られ、内容そのものとしては実りあるものになったと感じました。(スタッフ竹内)